

愛風だより

〒339-0076
岩槻区平林寺905-1
電話048-756-8640
Fax048-756-8644
NPO法人 愛風

2024年10月号
9月25日発行

やまぶきまつり

行きませんか？

愛風を応援してくださいと書いてある皆様！愛風もブースを出しますので、ぜひおこしください。会員様には、豚汁を一杯、無料提供させていただきます。また、会場まで行くのが大変だが、行ってみたいという会員様は、愛風で無料送迎しますので、事務所にお電話(756-8640)を。ピストン移送となりますので、時間はこちらで調整させていただきます、何時頃迎えられるかお知らせします。

今年は、例年行っているフリーマーケットに加えて、精巧な列車の模型Nゲージの展示を予定しています。鉄道好きの方、ぜひ、見に来てください。台風や暑さが厳しくない、過ごしやすい天候であることを願っています。今までの経験では、小雨決行です。

やまぶきまつりは、岩槻区民の連帯・郷土づくりのために開催されているそうです。岩槻文化公園で十月二十日に開催されます。九時頃より、ブースの準備が始まり、舞台は十時頃より始まります。ステージでは、太鼓や琴の演奏よきこい踊りやキッズダンスなどの催しが。また、消防自動車やパトカーが展示され、中も見

学できたりするようです。

色々な団体が出店も出しています。コロナ禍には、その場で食べるものが控えられました。今年あたりからは、調理されたものが出品されるのではないかと期待しています。手作り作品や、新鮮な野菜が販売されるなど、物価のあがった昨今、家計のお役にたつやもしれません。

今年、愛風は会員様を増やすことを目標に掲げています。介護は、遠い話ではありません。誰にも平等に老いは訪れるものですし、病や事故だつて、いつなんどきおとずれるかかわらない。ご承知のように、住み慣れた自宅で、住み続けることをお手伝いする訪問介護という仕事は、必要であるにも関わらず、担い手の生活が十分に保障されるような値段がつけられておりません。また、制度の枠組みからはずれている分野にも、支援を必要とするところがあり、愛風は保険外自費にはなりますが、そこにも対応しながら、在宅生活を支えようとしています。

こうした活動に、ご賛同、応援いただける方を増やしたいのです。お時間の空いている時に、ボランティアとして労働力を提供。子ども食堂に使える食材のご寄付。年会費という形で愛風の運営をささげ。無理の無い範囲で、応援いただける方、是非、ご協力をお願いいたします。

今、愛風は九十名近い人が会員として支えてくださっています。一人のヒトができる事

は、多くありませんが、できることを少しずつ、多くの方が協力していただければ、住みやすい地域にしていける力を生み出せます。

会員の皆様には、ぜひ、愛風の会員になつていただくをご家族や知人にお知らせをお願いいたします。今、お元気で生活されている方でも、何かあったときに、愛風に連絡いただけますように。愛風の電話番号を、知らせておいてください。もしもの時に、介護保険や障害福祉サービスの利用に関して、情報提供することができまので、御周知願います。

ともあれ、やまぶきまつり。会員様に限り、車での送迎をすることにしました。時間指定はできませんが、希望する方の家をめぐり、会場までお連れします。ピストン輸送をしますので、何件か回りますが、年に一度の産業祭。気分転換に訪れてみるのはいかがでしょうか。(愛風)



愛風事務所の裏の畑。もうすぐサツマイモも収穫できます。やまぶきまつりに出品できるかな？



戦争

反対っ

樋口恵子さんが、古館伊知郎さんと対談し

ている記事を読みました。樋口さんは、九十年代になってもなお現役で、執筆活動や講演会を行っているスーパードーマンです。介護保険の立ち上げにも尽力されましたし、今は、動き出した制度を改悪させないために、声を上げなければならぬと頑張っておられます。

この対談の中で、戦争は絶対いけない、その大きな理由の一つは、戦争になったら多くの女性たちが性被害に遭うからだとおっしゃっています。その女性たちは、戦後も差別を受ける・・・と。

私沖縄で七年ほど仕事をしまして、戦争を生き抜いた方々とお話する機会がありました。沖縄は地上戦もありましたし、米国に統治された歴史もあります。でも、文化的な特徴もあって、健康な高齢者の大多数は、戦中戦後の体験については口を閉ざしていらつしやいました。辛いことは独りで耐えて、楽しいことは皆で分かち合うのが美徳だという価値観があるからだと思えます。(ゆえに、語り部の人たちは、語ることでそのこと自体で、

地域の人からさげすまれるという体験もなさったようです。)

私は、認知症の人たちのデイで働きました。健康な時には、地域共有の価値観を守り、口をつぐんでいた人が、認知症にて時間的な混乱をしてしまったり、理性的な抑制がとれなくなってしまうたりして、戦中戦後の話をし

てしまうことを耳にしました・・・。

集団自決のその場に居た話、空襲で焼けだされ命からがら逃げた話、集中砲火の中を逃げた話・・・。戦後も、男手の居ない家族を食べさせるために、米兵相手に水商売をして生き抜いてきた話・・・。戦後再建されていた首里城が漏電原因で焼失した時、「戦か？ 戦がまた始まったのか？」とおののいたおぼあが沢山いたのです。

戦後八十年になろうとも、心の傷は、消えないのだと思います。戦争は絶対におこしてはならないと、思っている人は多いはず。でもそれならば、どうしてウクライナとロシア、パレスチナとイスラエルでは、新たな戦いを始めてしまったのか。そして、なぜやめられないのか。

自衛隊員の友人が言っていました。戦闘訓練(山野で匍匐前進しながら、敵を見つけたら打つという訓練だそうです)を続けると、殺らなければ殺られるという気分になり、人を殺傷することへの抵抗感は薄れてくると。訓練ですらそうなのですから、戦闘そのもの

に参加すると、通常であれば、ヒトを殺すことに対してあるはずの抵抗感すら、なくなっていくのかもしれない。

私は齢五十を超えておりますので、もしこの先、日本が他国と戦争をすることになったら、軍人として戦闘に参加することはないと思います。けれども、戦地に行くだけが戦争ではないですね？ 太平洋戦争の頃より兵器は進化しています。他国からミサイルが撃ち込まれるかもしれませんし、ドローンが爆弾を運んでくるかもしれません。日本は、原子力発電所があちこちにありますが、強制的に停電させられるだけでも、甚大な被害を引き起こすことが可能でしょう。

そうなってしまうとき、私は、ヒトを殺してはいけない！ 暴力はいけない！ 戦争はやめなければいけない！ と、言えるだろうか。

太平洋戦争の時、戦争反対を口にするのを、役人だけでなく、隣近所の人たちも監視し、取り締まりの役目を担いました。殺人は罪と誰もが知っているし、暴力は犯罪と誰でもわかっていたのに、憲兵が戦争反対者を拷問することは容認され、地域でも、戦争に協力しない人を非国民とよび、袋叩きにするようなこともあった・・・。戦争は、ヒトを狂わせるのでしょうか？

・否。人は、残虐性を内に秘めている動物なのだと思えます。機会さえあれば、ヒト

は、他者を傷めつけることをためらわない。

あらゆる心理実験でも、それは証明されています。だから、戦争は無くならないのだと思います。だから、戦争は無くならないのだと思います。本能に従えば、きつと、何かしらの理由をつけて、大量虐殺に走ってしまう・・・。

戦中戦後、性被害にあった女性たちを、「隙があつたからだ」「媚びを売って・・・」などと誹謗中傷するのも、ヒトのもつ残酷性の一つでは？ 被曝した人たちを「うつる」

「ばけもの」などと差別するのも、同じでは？ 今の言葉で言え**ばいじめ**でしょう。

戦争中のように物資も無く、我慢を強いられ、食料不足で、空襲もありという、きつい生活の中では、思考も全うに働かず、より攻撃的な面が出されやすかつたのでは？ 戦争は、他国と自国だけでなく、自国内でも、**“いじめ”**を引き起こす本場にしようもないものだと思います。

ミサイルを飛ばしているのも、ドローンで爆弾を運ばせているのも、K国だと、政府やマスコミが言っていて、やられるまえに叩かなければ、自分たちの命が危ないから、K国を攻撃するしかない、内閣が決定したら？ 私には、その情報の真偽を確認する知恵も技術もありません。政府が国民に嘘をつかないと、盲目的に信じますか？

もし、情報が真実だったとして、対策は本当に、攻撃だけなのでしょうか？ 今、ウクライナは泥沼です。戦い始めてしまったら、

簡単には止まらない。最初に手を出したのがロシアだから、ウクライナがロシア国内まで攻撃するのはやむを得ないのででしょうか？

武器を持たない住民を狙うのは非難されますが、戦争中、敵兵が来たら殺されるかもという恐怖の中、身を守るための銃を持てば、それは攻撃の理由になるのですよね？



先の大戦時、国土の狭い日本では、武器を作るだけの材料が不足し、国民は竹やりで武装したそうですね。それでも、武器を持っているから一般人ではないとみなされ、攻撃されました。

ガンジーは、非暴力の抵抗を実践しました。私にできるだろうか。大勢の声に逆らうのは、大変です。子どもの頃を思い出します。クラスで一人の女の子がいじめられはじめました。私は、そういうことに混ざるつもりはありませんでしたから、いじめ始めた子に、仲間になるように声をかけられたときに、断りました。当然ですが、翌日から私もいじめの対象になりました。たかだか四十人ちよいのクラスでしたが、毎日、誰とも口をきけない中ですぐすのは、かなりきついものでした。

無視程度でしたから、貫き通せましたけども、暴力も加わってきたら、長いものに巻かれた方が楽と、くじけてしまっていたかも知れない。戦争反対と、今は言えるけれども、

本当にそうなって来た時に、言えるか。ウクライナにもロシアにも、戦争はいけないと思っっている人、居るはずなんです。それも少くはないはず。でも、いまだに終わらない。

武器を与えられ、銃弾を持たされた人が、使わなければ、戦いにはならないはずですよ？ 戦闘機を操縦する人、ミサイルを打つ人、それらの一人一人が、それを辞めたら、その攻撃は止まるはず。でも、持たされた人、それを使わないと、殴られたり、殺されたりのものしられたりするのかしら？ 自分がやめても、他の人がやれば、戦争は続きます。

正当防衛という考え方と、やらなければやられるという恐怖心は、どう区別すればよいのやら。日本は防衛費という名目で、兵器にお金を費やしています。その大義名分は、自営のためです。攻撃されて反撃して、あちらに死傷者が出れば、そこに恨みつらみは生まれますよね？ また仕返しが始まる・・・どこで踏みとどまるべきでしょうか。

そういうえば、おじいさん、言っていました。予科練では上官に殴られたと。言われたことができないと殴られたと。そういうことが繰り返されると、ヒトを殺めてはいけないという、子どもでも知っている理を、無視できるようにするのでしょいか。

私は戦争を担いたくないです。どんな形であっても。皆様はどう思われますか？ (し)

地球の容量

地球は有限です。何がって、面積も組成もです。ゆえに、地球上で生きながらえられる生き物も、無限にというわけにはいかないはずです。

増えすぎれば、食料や水、燃料が不足するでしょう。地球温暖化の問題を論じる時に、限界点を超える、回復不可能になる…という話を聞いたことありませんか？ それは、オゾンの層や気候に対してのみなことではありません。水産物も獲りすぎれば、個体数が減って回復しなくなりますが、森林だって伐採しすぎれば、土が流され森に回復させることが困難になります。

そのようなあらゆることを勘案して、米国のワールドウオッチ研究所では、地球で養える人口を概算しています。米国的な食生活(肉食中心)ですと、一人当たり一年で800 kgぐらいの穀物量が必要と換算され、世界中の人がこの食生活をするとして計算すると27.5億人が限界人数とのこと。インド的な食生活ですと一年で200 kgぐらいの穀物量で済むそうで、その量で済めば、110億人が地球で養える人口とのこと。

こんな計算もあります。あくまで平均値ですが、現在の人口と農地を計算すると、一人当



りを養うのに必要な農地が0.23haなのだそうです。今の調子で人口が増えていくとすると、2050年には93億人になるそうで、そうなると、今の1.4倍の農地が必要となるのとこと。今、宅地にしたり工業用地にするような農地転用や、過剰耕作や塩害などで失われる農地が、2000～

3000haあるそうなので、2050年に21億haの農地を確保することができないと、その人口を養えない…。

こんな指標も。世界中の人が、日本の生活を送るとすると、地球は2.9個必要。米国的な生活を送るとすると、地球は5.1個必要。インド的な生活ならば、0.8個だ…。

熱帯雨林は、温暖化抑制にはとても重要です。でも、そこに住む人にとっては、食料を産出するのにはあまり役に立たないようです。狩猟を主にしていた時代ならともかく、今は、開墾して畑にした方が、面積当たりの食糧生産量が

増えて、地域を潤すようです。

人間の都合だけを考えて、畑にされてきた土地の中には、地力を失い、砂漠のようになり捨てられてしまった場所も多くあるようです。オーストラリアの塩害は有名です。

車や飛行機に乗り、食べたいだけ肉を食べ、油も砂糖も、望むままに手に入れる生活を世界中の人がしたら、すでに地球の限界は越えてしまっているということですね。今、80億の人が

地球上に居られるのは、凶らずも、泥水しか飲めず、鳴き声すら立てられない飢餓の状態で甘んじて生きている人を含んだの80億人だからでしょう。

日本に住んでいると、つい忘れてしま

うことです。私たちが、食べたいものを食べていること、もちろん感謝します。だから「いただきます」「ごちそうさま」と唱えます。でも、これを私が食べているから、きれいな水を飲みたいときに飲んでいいるから、めぐりめぐって、雨が降らず、農作物を作ることができず、飢餓に陥り、生まれた赤ちゃんに乳も飲ませられない…人がいるのかもしれないですよ。私には関係ないことでしょうか？ 責任は感じなくてもいいことでしょうか。